

平成29年度 木曾川水系越百川第3砂防堰堤工事

～日本一の鋼製リット堰堤で大桑村の生命と財産を守る～

発注者：多治見砂防国道事務所

受注者：奥田工業株式会社



長野県木曾郡出身

2015年入社

久野 哲也 22歳

高校卒業後、生まれ育った地元で本社を構える奥田工業に入社。国土交通省はじめ県や村の発注工事を担当しています。

▼建設業に入った動機・魅力

私が建設業に入ろうと思ったきっかけは、高校時代アルバイトで現場作業員を経験したからです。なにもなかったそこに大きな構造物ができたり道路ができていく、そんなものづくりの楽しさ、またそれによって人々の暮らしがより一層快適になっていく土木の魅力に感銘を受け、この仕事で自分を育ててくれた地元に貢献したいと思い建設業界に入ることを決めました。

主な工事概要

工事場所：長野県木曾郡大桑村

鋼製堰堤工 A = 141.9t

コンクリート堰堤工 V = 4,108m³

仮設工(残土運搬) V = 4,000m³

本堰堤は、透過型砂防堰堤を築堤する工事で平成23年より着手しており、鋼製リットの高さ21.0mは日本一です。地域住民の安全で豊かな暮らしを守る為、平成31年の完成を目指し日々施工しています。



▼現場での私の役割

私たち管理側の現場での最優先事項は、無事故無災害で工事の完成を目指すことです。その為に、日々の安全巡視をはじめ的確な安全管理と指導を行わなければいけない中、私が最も現場で大切にしていることはコミュニケーションです。互いの意思疎通を図り考えを一つに連携して現場を進めていくことが現場全体の円滑な進行、また様々な面での意識の向上に繋がっていくということを意識し、日々の現場運営に励んでいます。

▼建設業入職を希望する若者へのメッセージ

建設業に対しマイナスイメージを持つ方も多いかもかもしれません。「3K(きつい,危険,汚い)」なんて言葉もありますが、現在業界を挙げて働き方改革等の職場環境の改善もなされてきています。多くの人は批判的に3Kと唱えるかもしれませんが、その3Kの上に皆が快適で安心安全に暮らせる為の道路や橋、砂防施設が出来ていることもまた事実です。かつての大昔、道路も水路もダムも何もない場所からここまで多くのものを作り上げてきた建設業は誇り高い仕事だと私は思います。建設業界の人手不足は他の業種と比べても深刻です。今後の業界改革による働きやすい建設業界で、爽やかな汗を一緒に流しましょう!!

